

令和7年度



3月（専決）補正予算事業別説明資料

一般会計（第10号）
墓苑事業特別会計（第1号）



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	基金管理費	会計名	一般会計
事業名	1	基金管理事業						所属名	出納室	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	基金	総合計画における位置づけ ①開かれた町政と自治協働の推進							
	意図 (対象をどうするか)	基金の安全・確実かつ効率的な運用を行う。	「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	基金の安全・確実な運用を行うことにより、必要な資金を確保できる。	根拠法令・要綱等 地方自治法、南部町各基金条例、南部町の管理する公金の管理及び運用に関する要綱、南部町の公金の債券運用に関する指針							
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		81,025 千円	6,752 千円	87,777 千円						

【提案理由】

- ・事業実績により、森林整備基金を追加積立したい。

【事業内容】

- ・基金の安全・確実な管理運用を行う。
- ・債券による基金運用を検討する。

【状況】

- ・事業実績により、森林整備基金に6,752千円を積み立てる。
※R8.3月末現在の森林整備基金残高 34,950千円

【対応策】

- <歳出>
積立金 6,752千円
 ・森林整備基金
 積立確定額13,115千円－予備費充用6,363千円＝6,752千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
2-3-1-1	森林環境譲与税	0	6,752	24 積立金	81,025	6,752
16-1-1-1	利子及び配当金	7,051	0			
17-1-1-1	一般寄附金	1,000	0			
17-1-2-1	がんばれふるさと寄付金	18,756	0			
	一般財源	54,218	0			
	計	81,025	6,752	計	81,025	6,752

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 基金の安全・確実な運用が行える。
-----	--	--

款	4	衛生費	項	2	環境費	目	1	環境衛生費	会計名	一般会計
事業名	6	墓苑事業特別会計繰出金						所属名	町民生活課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	墓苑事業特別会計						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	墓苑事業特別会計における財源不足分について一般会計からの繰出を行う。						⑩快適な生活環境の整備		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	繰り出しをすることにより、墓苑事業特別会計が維持される。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等				
		0千円	156千円	156千円		南部町営西伯墓苑条例 南部町営西伯墓苑条例施行規則 南部町営円山墓地条例 南部町営円山墓地条例施行規則				

【提案理由】

墓地返還により償還金の支出が増え、墓苑事業特別会計において歳入予算が不足するため補正する。

【事業内容】

墓苑事業特別会計における財源不足について一般会計から繰出をする。

【状況】

(歳入) ○墓地使用料
決算見込額:1,009千円

○墓地手数料
決算見込額:644千円

○前年度繰越金
決算見込額:142千円

(歳出) ○一般管理費
決算見込額:817千円

○償還金
決算見込額:1,134千円

歳出決算見込額:1,951千円

歳入決算見込額:1,795千円

【対応策】

歳出決算見込額1,951千円-歳入決算見込額1,795千円=156千円(一般会計からの繰出額)

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				27 繰出金	0	156
	一般財源	0	156			
	計	0	156	計	0	156

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
墓苑を適正に管理することが出来る。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費	会計名	一般会計	
事業名	1	林業総務費事務費						所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	林業関係各種団体						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	林業関係の各種団体に対し活動費の一部を負担することで林業及び緑化運動の促進を図る						②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	林業関係各種団体への支援を通じ町内林産業の促進を図る。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
								根拠法令・要綱等			
								森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林法、南部町森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱			
予算状況		補正前の額	補正額	計							
		847 千円	△ 39 千円	808 千円							

【提案理由】

事業実績により不用額が生じるため、減額補正を行う。

【事業内容】

みなと森と水ネットワーク主催の展示会への参加
東京都港区が実施する協定自治体における木材活用展示会への参加(10/7～10/23)

【状況】

展示会参加 ※展示品の郵送による出展
場所:東京都港区芝浦(みなとパーク芝浦)

単位:円

費目	予算額	実績額	補正額	備考
需用費	16,000	15,500		
消耗品費	16,000	15,500		展示品購入費用
役務費	5,000	1,386	△ 3,614	
通信運搬費	5,000	1,386		郵送代
旅費	36,000	0	△ 36,000	
計	57,000	16,886	△ 39,614	

【対応策】

事業実績に合わせて歳入、歳出共に補正する。
なお、本出展に係る一般財源部分については森林環境譲与税を充当

<歳入>

森林環境譲与税	必要額	18,000 円
	予算額	57,000 円
	補正額	△ 39,000 円

<歳出>

旅費	必要額	0 円
	予算額	36,000 円
	補正額	△ 36,000 円
役務費	必要額	2,000 円
	予算額	5,000 円
	補正額	△ 3,000 円

(参考)

■ 令和7年度分森林環境譲与税の充当状況

①譲与税交付額	20,487,000 円
②現年事業充当額	7,372,000 円
①-②基金積立額	13,115,000 円

(②内訳:森林環境譲与税の充当対象事業)

森林整備事業	6,386,000 円
造林事業	209,000 円
竹林整備事業	759,000 円
林業総務事業	18,000 円
計	7,372,000 円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
2-3-1-1-1	森林環境譲与税	57	△ 39	8 旅費	36	△ 36
				10 需用費	16	
				11 役務費	5	△ 3
				18 負担金補助及び交付金	790	
	一般財源	790	0			
	計	847	△ 39	計	847	△ 39

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

本町の林業特産品のPRにより、本町における林業施策の展開に繋げることができた。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名	4	造林事業							所属名	産業課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	森林所有者(分収契約を締結している森林所有者、森林作業道設置者)	総合計画における位置づけ							
	意図 (対象をどうするか)	造林事業への助成により、事業実施者負担を軽減する。	②魅力ある農林業と商工業の振興 「4つの挑戦」から見た位置づけ							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	造林事業による林業振興に寄与する。	④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち) 根拠法令・要綱等 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、鳥取県造林事業補助金交付要綱							
予算状況	補正前の額	補正額	計							
	1,859 千円	△ 841 千円	1,018 千円							

【提案理由】

事業実績により不用額が生じるため、減額補正を行う。

【事業内容】

造林事業補助

森林経営計画に基づき間伐を実施する事業者に対し補助を行う。

(県補助68%を差し引いた負担額に対し助成) 間伐:普通林 7% 保安林 12%

【状況】

単位:円

費目	予算額	実績額	補正額	備考
負担金補助及び交付金	1,050,000	208,387	△ 841,613	造林事業補助金
計	1,050,000	208,387	△ 841,613	

【対応策】

事業実績に合わせて歳入、歳出共に補正する。

なお、造林事業補助に係る一般財源部分については森林環境譲与税を充当

<歳入>

森林環境譲与税	必要額	209,000 円
	予算額	1,050,000 円
	補正額	△ 841,000 円

<歳出>

負担金補助	必要額	209,000 円
	予算額	1,050,000 円
	補正額	△ 841,000 円

(参考)

■ 令和7年度分森林環境譲与税の充当状況

①譲与税交付額	20,487,000 円
②現年事業充当額	7,372,000 円
①-②基金積立額	13,115,000 円

(②内訳:森林環境譲与税の充当対象事業)

森林整備事業	6,386,000 円
造林事業	209,000 円
竹林整備事業	759,000 円
林業総務事業	18,000 円
計	7,372,000 円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
2-3-1-1-1	森林環境譲与税	1,050	△ 841	10 需用費	15	
				11 役務費	794	
				18 負担金補助及び交付金	1,050	△ 841
	一般財源	809	0			
	計	1,859	△ 841	計	1,859	△ 841

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

平成23、24年事業で実施した松くい虫被害林の樹種転換地について、転換後のクヌギの育成、定着を促進し、健全な広葉樹林層を形成する必要から、継続実施の必要がある。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計	
事業名	6	竹林整備事業							所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	荒廃した竹林の整備を行い、整備後の竹林を有効活用しようとする竹林所有者。						総合計画における位置づけ ②魅力ある農林業と商工業の振興			
	意図 (対象をどうするか)	荒廃した竹林を整備し、タケノコ生産販売、竹材としての竹野供給等を行うことで、森林整備と所有者の経済的利益の創出を図る。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	実施地区における竹林の適正な整備により森林環境及び生活環境の改善を図る。						根拠法令・要綱等 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、竹林整備事業実施要領、南部町竹林整備事業費補助金交付要綱			
予算状況		補正前の額	補正額	計							
		4,083 千円	△ 2,221 千円	1,862 千円							

【提案理由】

事業実績により不用額が生じるため、減額補正を行う。

【事業内容】

放置された竹林による森林環境及び生活環境への影響を改善するため、伐採等により竹林を整備し、タケノコ生産林、竹材活用、景観竹林として利用する者に対し、整備に要する費用を補助する。なお、本補助事業利用者は、整備した年度の翌年度から5年間の管理義務を負い、竹林の中期的な荒廃を予防する。

■県竹林整備事業補助金 補助率：8/10

【状況】

単位:円

費目	既予算額	実績額	補正額
負担金補助及び交付金	4,083,000	1,861,568	△ 2,221,432
計	4,083,000	1,861,568	△ 2,221,432

事業内訳

地区名	面積	事業費	補助金額	工種	備考
①清水川	0.46	1,378,480	1,102,784	抜き伐り・林内集積	県竹林整備事業
②能竹	0.32	948,480	758,784	抜き伐り・林内集積	森林環境譲与税
計	0.78	2,326,960	1,861,568		

【対応策】

事業実績に合わせて歳入、歳出共に補正する。

なお、本事業に係る一般財源部分については森林環境譲与税を充当

<歳入>

竹林整備事業	必要額	1,103,000 円
	予算額	4,083,000 円
	補正額	△ 2,980,000 円
森林環境譲与税	必要額	759,000 円
	予算額	0 円
	補正額	759,000 円

<歳出>

負担金補助	必要額	1,862,000 円
	予算額	4,083,000 円
	補正額	△ 2,221,000 円

(参考)

■令和7年度分森林環境譲与税の充当状況

①譲与税交付額	20,487,000 円
②現年事業充当額	7,372,000 円
①-②基金積立額	13,115,000 円

(②内訳:森林環境譲与税の充当対象事業)

森林整備事業	6,386,000 円
造林事業	209,000 円
竹林整備事業	759,000 円
林業総務事業	18,000 円
計	7,372,000 円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-2	竹林整備事業補助金	4,083	△ 2,980	18 負担金補助及び交付金	4,083	△ 2,221
2-3-1-1-1	森林環境譲与税	0	759			
	一般財源	0	0			
	計	4,083	△ 2,221	計	4,083	△ 2,221

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

竹の旺盛な繁殖力により荒廃した竹林を整備するには相当の費用を要するため、放置されるケースが多い。本事業で竹林整備の支援をすることで、里地里山の環境保全に効果を発揮している。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名	18	森林整備促進事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	森林所有者、林業従事者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	森林の整備促進を目的として譲与される森林環境譲与税を財源として間伐の実施及び森林所有者の森林管理の意向調査を実施する。						②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内森林の間伐促進を図り、町内の森林整備が促進と共に間伐材利用の促進を図る。 意向調査実施により町内森林の将来的な森林管理の基礎的情報を作成する。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等				
		13,829 千円	△ 7,443 千円	6,386 千円		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、鳥取県間伐材搬出等事業費補助金交付要綱、南部町間伐材搬出支援事業費補助金交付要綱、南部町竹木等粉砕機導入補助金交付要綱				

【提案理由】

事業実績により不用額が生じるため、減額補正を行う。

【事業内容】

- ①意向調査及び現地調査
今後の森林経営について所有者の意向確認を行い、適切な経営が行われない森林について意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化する。
- ②南部町間伐材搬出促進事業補助
町産材のスギ・ヒノキ間伐材を出荷、販売する者に対し補助を行う。(定額 1,000円/m³)

【状況】

<歳入>
令和7年度森林環境譲与税 20,487,000円 ※充当残額は基金へ積み立て

<歳出>
森林整備促進事業 6,386,000円 単位:円

費目	既予算額	実績額	補正額	備考
委託料	6,691,000	3,786,000	△ 2,905,000	意向調査、集積計画
使用料及び賃借料	198,000	198,000	0	森林クラウドシステム使用料
負担金補助及び交付金	6,940,000	2,402,000	△ 4,538,000	間伐材搬補助
計	13,829,000	6,386,000	△ 7,443,000	

【対応策】

事業実績に合わせて歳入、歳出共に減額補正する。

<歳入>	
森林環境譲与税 必要額	6,386,000 円
予算額	13,829,000 円
補正額	△ 7,443,000 円
<歳出>	
委託料 必要額	3,786,000 円
予算額	6,691,000 円
補正額	△ 2,905,000 円
負担金補助 必要額	2,402,000 円
予算額	6,940,000 円
補正額	△ 4,538,000 円

(参考)

■ 令和7年度分森林環境譲与税の充当状況	
①譲与税交付額	20,487,000 円
②現年事業充当額	7,372,000 円
①-②基金積立額	13,115,000 円
(②内訳: 森林環境譲与税の充当対象事業)	
森林整備事業	6,386,000 円
造林事業	209,000 円
竹林整備事業	759,000 円
林業総務事業	18,000 円
計	7,372,000 円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
2-3-1-1-1	森林環境譲与税	13,829	△ 7,443	12 委託料	6,691	△ 2,905
				13 使用料及び賃借料	198	
				18 負担金補助及び交付金	6,940	△ 4,538
	一般財源	0	0			
	計	13,829	△ 7,443	計	13,829	△ 7,443

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

意向調査により該当地域における森林管理のための基礎を作る。
また町産材の利用促進、林業事業体の施業促進により森林整備を実施しやすくする。

款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	会計名	墓苑事業特別会計
事業名	1	一般管理費						所属名	町民生活課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	西伯墓苑の利用者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	西伯墓苑内の環境を良好に保っている。						⑩快適な生活環境の整備		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	霊園にふさわしい環境を維持することにより利用者が気持ち良く使っていただくことができる。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)		
								根拠法令・要綱等		
								南部町営西伯墓苑条例、南部町営西伯墓苑条例施行規則		
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		915 千円	△ 98 千円	817 千円						

【提案理由】

決算見込額に基づき不用額を減額補正する。

【事業内容】

町営西伯墓苑の維持管理を行う。

【状況】

(単位:円)

費目	予算額	決算見込額	補正額
需用費			
消耗品費	3,000	874	△2,000
光熱水費	18,000	15,589	△2,000
施設修繕料	100,000	8,800	△91,000
役務費			
通信運搬費	37,000	37,000	0
手数料	3,000	0	△3,000
委託料	754,000	753,099	0
計	915,000	815,362	△98,000

【対応策】

不用額を減額補正する。

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
1-1-1-1	墓地使用料	266	△ 85	10 需用費	121	△ 95
1-2-1-1	墓地手数料	649	△ 13	11 役務費	40	△ 3
				12 委託料	754	0
	一般財源	0	0			
	計	915	△ 98	計	915	△ 98

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 西伯墓苑を適切に管理することができる。
-----	--	---

款	2	諸支出金	項	1	償還金	目	1	償還金	会計名	墓苑事業特別会計	
事業名	1	償還金							所属名	町民生活課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	西伯墓苑、円山墓地利用者						総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	西伯墓苑、円山墓地利用者の返還に伴い、未使用の墓地について返還している。						⑩快適な生活環境の整備			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	未使用者に対して使用料を返還することができる。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)			
予算状況		補正前の額		補正額		計					
		1,062 千円		72 千円		1,134 千円					
<p>根拠法令・要綱等</p> <p>南部町営西伯墓苑条例 南部町営西伯墓苑条例施行規則 南部町営円山墓地条例 南部町営円山墓地条例施行規則</p>											

【提案理由】

当初予算編成時の町営墓地返還見込数の想定を上回る返還があり、償還金の予算が不足するため。

【事業内容】

町営墓地返還に伴って未使用墓地については利用料の100分の90をお返しする。

現在は経過措置で
5年を超え6年以内 100分の30

【状況】

予算額			決算見込額			不足額
西伯墓苑			西伯墓苑			
A区画	2基	223,800	A区画	1基	111,900	
B区画	2基	157,800	B区画	4基	308,700	
D区画	2基	109,800	D区画	3基	153,900	
			F区画	3基	284,400	
円山墓地			円山墓地			
A区画	2基	240,000	A区画	1基	120,000	
			B区画	1基	75,000	
			C区画	1基	80,100	
予備費充用		330,000				
合計		1,062,000				72,000

【対応策】

不足額について増額補正する。

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
1-1-1-1	墓苑使用料	927	△ 99	22 償還金、利子及び割引料	1,062	72
	一般財源	135	171			
	計	1,062	72	計	1,062	72

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
申請者に対して墓地使用料を返還することができる。